

## 神奈川自然公園だより

(財) 神奈川県公園協会 自然公園課 (〒231-0015 横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-211-5483 FAX045-338-1866 http://www.kanagawa-park.or.jp/)

## 西丹沢自然教室 【山北町中川867-2-9 TEL0465-78-3940】

2月初旬に南向き斜面でミツマタの花が咲き始め、キブシ、フサザクラ、アブラチャンなどの西丹沢の早春の花が見られるようになりました。西丹沢自然教室の近くでは、マメザクラは3月24日、ミツバツツジは3月29日、ヤマブキは4月7日に咲き始めました。

マメザクラは昨年と比べて3日早い開花です。昨年はいつもの年より一週間程



マメザクラ

度早く咲き始めましたが、今年はそれよりも早いです。東京のソメイヨシノの開花は例年よりも9日早かったというので、やはり全国的に春が早いのでしょう。マメザクラの花は4月中は山の上で見られますので、小さくうつむいた桜の花を探しに来てみませんか。(倉持)

## 陣馬自然公園センター 【藤野町佐野川659-3 TEL0426-87-5270】

淡い色彩の中に鮮やかな赤や黄色も交わり、山々が華やかに装う季節となりました。大気も冬から春へと変わります。日差しが強くなり、気温の変化が激しく、暖かいときは黄砂の影響で春霞も多く、一年で一番変化のある時期です。

誰もが開花を楽しみにしているサクラの花も、里から山頂へとどんどん咲き始め、里のサクラが終わっても山のサ



ミヤマキケマン

クラを楽しむことができます。センター前のソメイヨシノ・ミツバツツジも見頃を迎え、早春の谷間から野鳥のさえずりも心地よく聞こえてきます。そして、今年もイワツバメがやってきました。センターの玄関軒先に毎年巣作りをします。



タネツケバナ

3月は暖冬で陣馬山頂では雪がなく、春休みには親子連れの登山者も多く、春を告げる花シュンラン・アブラチャンの花々や山頂での景色を楽しんでいました。(荒井)

## 丹沢湖ビジターセンター 【山北町玄倉515 TEL0465-78-3888】

春です！丹沢湖周辺では鳥たちがさえずり、山がどんどん色づいています。新年度を迎えた丹沢湖ビジターセンターでは、その美しさに負けないくらい楽しいイベントが盛りだくさん！公募型の自然教室は数を増し、月に1回、第2日曜日のみだった自然観察会は第2、4日曜日の月2回開催に！呼び名も『自然観察会』から『ガイドウォーク』に変わりました。そして、新しいプログラム『スライドトーク』がスタート！スタッフ手作りのスライドで丹沢の自然を様々な角度から楽しくご紹介します。お楽しみに☆(村上)

【ガイドウォーク】

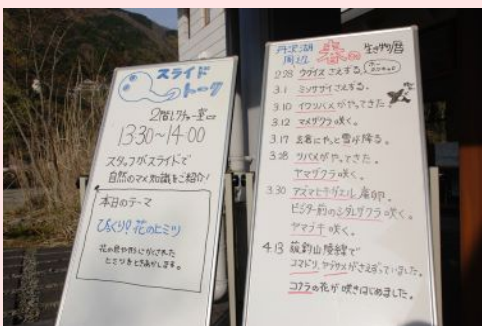
第2、4日曜日 10:00～12:00

【スライドトーク】

日曜日、祝祭日 13:30～14:00



スライドトーク



玄関前のインフォメーションボード

## 宮ヶ瀬ビジターセンター 【清川村宮ヶ瀬940-15 TEL046-288-1373】

2月号でウソという鳥の話をしました。サクラの花芽が好物で、今冬は宮ヶ瀬にも多数飛来し、花芽をついばんでいる様子をお伝えしました。そこで、サクラの開花を心配していたのですが、結果やいかに？……結論から言うと、サクラの本数や花芽の数の多さに比べれば、ウソが食べたのはたいした量ではない、ということでしょうか。今春もきれいに花を咲かせてくれました。ただ、宮ヶ瀬周辺の街路樹や公園に植えられたサクラは、心なしか、平野部に比べて花のつきが悪かったようにも感じます。色々な証拠調べをしないと、因果関係は突き止められません。自然観察は奥が深いですね。



ヤマザクラ



ヤマザクラ

私たちビジターセンターのスタッフも日々鍛えている自然を見る目。皆さんにも、自然の見方・接し方について、もっともお伝えしたい！そこで、今年度も色々な催しを行います。5月には「ちびっ子たちの野鳥観察」、7月には「川の生き物観察会」、その他にも、虫や植物、野生動物をテーマにした自然教室を実施していきます。催しものの案内は、ビジターセンターのホームページなどで随時発信します。皆様のご参加、お待ちしております！（長澤）

## 秦野ビジターセンター 【秦野市堀山下1513 TEL0463-87-9300】

4月の上旬に大倉尾根を登っている途中、ふと頭の上から「コココココ…」と木をつつく小さな音が聞こえ足を止めました。なんの音だろうと探してみるとある枯れ枝に動く姿がありました。コガラです。一心不乱に枯れ枝に開いた穴に顔を入れたり出したり…。よく見ていると、顔を穴の中に入れておるときには「コココココ」と音が聞こえ、出てくるときには、一緒に木屑が出てくるのです。



コガラの番(つがい)

そうです！今は春。コガラも子育てのための巣作りをしているのです。なんと、この鳥は“枯れ木の幹や枝にくちばしで穴を掘って自力で巣穴を作る”(『山溪カラー名鑑 日本の野鳥』より)のだそうです。でも、出てくる木屑も本当に少なく、そんな小さな嘴で本当にこれを掘ったの？巣穴になるまで掘ることができるの？と思ってしまう。



巣穴を掘るコガラ

登山道のすぐそばで行われているイキモノたちの小さな営み。これから無事、巣が出来上がり、小さな命が誕生するのが楽しみです。邪魔しないように見守っていききたいと思います。(篠島)

山岳スポーツセンター【秦野市戸川1392 TEL0463-87-9025】の記事は休ませていただきます。